

9月の定例作業は9月14日(土) 9時からグリーントリム公園に集合

繁茂した下草刈りをします。植えた草木の周りの茂った草を除きましょう。
雨天のときは翌週9/21(土)に延期。

平日作業日は、9月24日(火) 9時からグリーントリム公園に集合

定例作業日に続く。雨天のとき中止。

1. 8月避暑流しソーメンの会は、楽しく涼しいひと時

8月は猛暑を避けて作業は休止としました。その代わり、避暑の楽しみとして流しソーメンの会を催すことになりました。2019年夏に行って以来の第2回目です。

8/24(土)9時より準備を始めました。快晴。前日まで、材料の買物や竹の伐採などを行っていたので、この日は、町内会からテント2張りやなべざるなどを借用し運搬しました。また、環境保全課からリユース食器等借りました。第2広場にテントを張りました。1つは、ソーメン流しの処に、1つはテーブル椅子の休憩処に日射し除けとしました。次に、竹を半裁し節を取り切断面のバリを取り除き、台座に乗せて傾斜させセットしました。一方、ソーメン調理は管理棟横の水道栓傍でソーメンを茹で冷やして、第2広場のソーメン流しのテントに運びます。ソーメン扱う者は全員料理手袋をするなど衛生には特段気を使いました。

参加申し込みは会員17名、家族・子ども・幼児12名、合計29名。参加者は会員16名、家族・子ども・その他9名、合計25名でした。都議の清水やすこさんの参加もあり盛り上がりました。ソーメン流しはスムーズに行きました、一方ソーメン作りは木陰の下ではあるが火気を扱うので暑かったようです(橋本会長大奮闘、お疲れ様でした)。テントの下の休憩懇談席は優雅によもやま話でした。小宮さんからお酒“はむら”、田村栄さんから“揖保乃糸”他のソーメン1kgの差し入れがありました。

片付け後に、三角山でビールにより簡単に乾杯をし、解散しました。



ソーメン流し



休憩テント

問題 次の写真の花の名前は？ 下の名前と組み合わせなさい。 答えは次頁。

A

B

C

D

E

F

G



(写真は「季節の花300」(<https://www.hana300.com/aki777.html>)より)

①ハギ、②ススキ、③クズバナ、④ナデシコ、⑤オミナエシ、⑥フジバカマ、⑦キキョウ

秋の七草

9月3日は草の日です。そこで、秋の七草。 春の七草（せり なずな ごぎょう はこべら ほとけのざ すずな すずしろ）は食べる草、秋の七草は見る花です。

万葉集で山上憶良が次のように読んだことから始まるようです。

秋の野に 咲きたる花を 指折り（およびをり） かき数ふれば 七種（ななくさ）の花
萩の花 尾花 葛花 撫子の花 女郎花（おみなえし） また藤袴 朝貌（あさがお）の花
この7つの花の組み合わせにはその後変遷がありました。今は朝貌が桔梗（ききょう）になりました。尾花はススキのことです。

ハギ、ススキ、クズバナ、ナデシコ、オミナエシ、フジバカマ、キキョウが秋の七草とされています。七草の覚え方には、「ハスキーなお袋」「おすきなふくは（お好きな服は）」「おきなはすくふ（沖縄救う）」など。

前頁の答： A. ③クズバナ、B. ⑤オミナエシ、C. ⑥フジバカマ、D. ④ナデシコ、
E. ⑦キキョウ、F. ②ススキ、 G. ①ハギ

オニグルミ

9月30日はクルミの日だそうです。「く(9)るみ(3)はまるい(0)」から、シナノグルミの産地長野県東御市で制定されたとか。

クルミはクルミ科クルミ属の落葉高木で、ヨーロッパ系のペルシャグルミが有名ですが、日本産はオニグルミとその変種のヒメグルミがあり、シナノグルミは交雑種です。日本ではオニグルミが大半です。縄文の遺跡からオニグルミの殻が出土しています。

花期は5～6月頃、雄花と雌花が同株に付き、雄花は垂れた花序で花粉を飛ばし、雌花は枝先に上向きについています。果期は9～10月、10月頃熟します。

クルミには、ポリフェノール、メラトニン、ビタミンE、亜鉛などが豊富に含まれていて、生でも、炒っても美味しく食べられ、クルミ豆腐、クルミ味噌、和菓子、洋菓子、料理に添えられるなど多用されています。



オニグルミ



オニグルミ



シナノグルミ

「桃栗三年柿八年」

植えてから実がなるまで（収穫まで）に何年かかるかを言ったものだが、何事にも成就するまでに相応の年数がかかることのとえ。努力しても結果が出ず、諦めそうになっている人を励ますときなどにも使える言葉です。

このことわざがいつ頃発生し、伝承されてきたかは不明だが、農業技術の蓄積のある江戸時代にはあったのではないかと（ChatGPT 回答）との推測もあります。

また、これに続く言葉もあるようです。

「桃栗三年柿八年、梅はすいすい十三年、柚子の大馬鹿十八年、林檎にこここ二十五年、銀杏のきちがい三十年、女房の不作は六十年、亭主の不作はこれまた一生」

後ろのたとえは笑いをとるだけだが、桃栗3年、柿8年、梅13年、柚子18年、リンゴ25年、銀杏30年は当たっているだろうか。文献調べると、桃栗3年はよさそうだが、柿以下はいろいろ、栽培方法（実生か接ぎ木かなど）、環境（陽当たりなど）により異なるようです。